

2017年 夏号  
通算18号  
2017年7月発行



季刊 医療法人社団シャローム 広報誌

# シャローム通信



「ホスピス講演会」東松山市民文化センターにて

## 医療法人社団シャロームの理念と使命

### 【理念（表題）】

私たちは聖書の教えに基づき、病める人々とご家族の痛みに寄り添い、心を合わせて、優しく温かい医療に努めます。

### 【使命】

在宅医療、緩和医療、救急医療を特性とし、地域のニーズに呼応した多岐にわたる医療を行う。

## 「ホスピス講演会」を開催しました



当院において、保険診療が可能な緩和ケア病棟が開設されて、今年の7月で一周年を迎えました。シャロームを支えてくださった皆様への感謝の気持ちをお伝えすると共に、地域におけるホスピスへの理解を深めて頂くため、6月17日(土)に東松山市民文化センターにて「ホスピス講演会 ～この町のホスピスにやってきて～」を開催しました。



### 「ホスピス講演会を終えて」

シャローム病院 院長 鋤柄 稔

6月17日(土)の講演会には職員の参加を含めると、約750名の方々に集まっていたいただきました。お忙しい中、おいで下さった皆様、講演会のために労してくれた職員一同、ボランティアの方々、授業の一環として参加して下さいました比企准看護学校の皆様に感謝いたします。

本講演会を通して、改めてシャロームの起源と役割を再確認させていただきました。今回の講演ではチケット販売を行わず、宣伝はチラシとポスターが主体でした。それでもたくさんの方々がいらして下さったことに対して、講演会が終わってから、ある方から、「たくさん来られた人を見て、シャロームのブランド力を感じました。」とのお言葉をいただきました。

この方の言われた「シャロームのブランド力」とは何かを、職員一同で噛み締めながら歩んでいきたいと思えます。



シャローム病院  
院長 鋤柄 稔



シャローム病院  
緩和ケア科長 加藤修一 医師



元NPO法人ホスピス研究会  
さいどばいさいど代表  
蛭川和省氏



コーラスグループ  
「しらゆりパジャマ」  
アカペラミニコンサート



会場の様子



5月19日(金)に当院にて沼野尚美さんに講演をして頂きました

(演題) 「末期がん患者の心のケア」  
～患者とのコミュニケーションのとり方～



沼野 尚美さん

沼野尚美さんは、病院チャプレン・カウンセラーとして、今まで9つのホスピスで勤務し、3000人以上の方々生と死に関わりながら、がん患者とそのご家族の精神的援助・宗教授助に携わってこられました。現在は宝塚市立病院緩和ケア病棟と神戸中央病院にてにてチャプレンとカウンセラーを兼務されています。

それらの経験を基に、患者さんの心のケア・接し方について具体例を挙げながら、非常にわかりやすくお話しをしてくださいました。多くの職員が涙するような場面もあり、心に響く大変ためになる講演でした。ユーモアに溢れた方で、講演の前後にも当院職員と気さくにお話しをしてくださいました。

全国各地で講演をされている多忙な沼野さんが、当院のために貴重なお時間を割いて講演してくださったことは、大変有難いことです。

患者さんやご家族に寄り添った医療を行うための勉強の場として、非常に実践的で有意義なものでした。



イースター～復活祭～  
春の集い  
HAPPY EASTER

イースターは日本語で「復活祭」と言い、十字架に架けられ亡くなったイエス・キリストが、3日目によみがえり「復活」したことを祝う、キリスト教において最も大切なお祭りと言えます。イースターは、「春分の日後の最初の満月の次の日曜日」と決められていたため、日にちは毎年変わることになります。

シャロームでは、4月26日にイースターのイベントを行いました。



スペシャルゲストに岸田順子さん(声楽)と中村幸子さん(伴奏)を迎え、讃美歌を歌っていただきました。高らかな歌声に患者さんも職員も聴き入っていました。チャプレン(牧師)のお話を聞いたり、みんな楽しい時間を過ごしました。